

令和元年度 第2回日高市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年2月21日(金) 午前10時00分～11時34分
- 2 開催場所 日高市役所2階庁議室
- 3 公開・非公開 公開
- 4 非公開理由 なし
- 5 出席者 谷ヶ崎照雄会長、中村一夫委員、阿部俊司委員、諸井将博委員、
稲村浩之委員、伊藤輝雄委員、佐藤理影子委員、鯉沼正夫委員、
西秀美委員、新井多恵子委員、石若久恵委員、小林雪子委員、
渡辺将委員、大澤淳子委員（14名）
- 6 説明員 教育センター指導主事松本信寿
- 7 欠席者 堀尚人委員、新井由基夫委員、杉山賀彦委員、吉田美由紀委員、
山中由美子委員、持田智子委員、山畑淳子委員（7名）
- 8 事務局 教育部長吉野靖彦、学校教育課長野村弘人、生涯学習課長駒井実、
学校教育課指導主事下ノ坊圭、教育センター指導主事松本信寿、
教育センター指導主事高橋敏哉、生涯学習課生涯学習担当主幹吉
野修、生涯学習課生涯学習担当主事齋藤亮輔
- 9 傍聴者 1人
- 10 協議事項 (1) 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて
(2) 各団体の活動実施状況及び青少年健全育成について
(3) その他
- 11 会議資料
 - ・次第
 - ・小・中学校におけるいじめの実態について
 - ・学校区・学年別「いじめの認知率」 資料1-1、1-2
 - ・学校別「いじめの態様」 資料2-1、2-2
 - ・学校別「いじめの発見のきっかけ」 資料3-1、3-2
 - ・小中学校での取組事例 資料4
 - ・令和元年度 日高市児童会・生徒会サミット 資料5
 - ・日高市いじめの防止等のための基本的な方針 資料6
- 12 会議の経過
 - (1) 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて
資料に基づき説明した。
 - ・委員 児童、生徒が携帯電話やスマートフォンを学校に持ち込む事につい
て、どのような指導をしているか。
 - ・説明員 基本的に学校に持ち込む事は許可していない。登下校の際のみ、事

- 件や事故等の緊急時に、必要に応じて使用を許可することを条件として、持ち込みを許可している生徒もいる。
- ・委員 いじめの解消の定義は。
- ・説明員 相当期間（3ヵ月が目安）いじめに係る行為が止んでいることと、被害児童・生徒が心身の苦痛を感じていないこと、としている。
- ・委員 いじめの相談窓口については。
- ・説明員 市内では、ふれあい相談員、スクールカウンセラーを各学校に配置しており、スクールソーシャルワーカーや臨床心理士による支援体制がある。他に、教育相談室、社会福祉協議会など、校内・外に相談窓口を設置している。
- ・委員 児童生徒へのいじめに関するアンケート調査の取り方については。
- ・説明員 些細な悩みなども記入しやすいよう、一定の時間を確保している。

（２） 各団体の活動実施状況及び青少年健全育成について

各団体より活動内容等報告があった。

- ・市社会福祉協議会
青少年育成の施策として、作文コンクールを開催した。また、事業のボランティアを募集している。
- ・市区長会
市子連などと協力して活動することを検討している。
- ・市保護司会
社会を明るくする運動を実施した。また、研修のため千葉県少年院を訪問した。
- ・市PTA連合会
スマートフォンを持っている子どもが、SNSを通じていじめに発展することがある。スマートフォンやインターネットの使用について、家庭での教育が必要ではないか。
- ・市子ども会育成連絡協議会
毎年、「日高郷土かるた」を用いてかるた大会を実施している。成績上位者は3月に、埼玉県のかるた大会へ出場する。
- ・市青少年相談員協議会
年2回、小学生を対象にイベントを開催している。
- ・市老人クラブ連合会
小学生を対象に昔遊び、保育所で繭玉づくりを行った。
- ・市民生・児童委員協議会
これからの社会では、スマートフォンなどからの情報の流出などが怖い。
- ・市いじめ問題専門委員会
いじめに関するアンケート調査について、質問の項目をある程度統一することが必要なのではないか。
- ・市校長会（小学校）
アンケートの結果や、日々の子どもの表情など、小さい事柄でも、見逃さないようにしている。また、校内で一生懸命何かに取り組んでいる子や、思いやりのある行動が出来た子を表彰する機会を作っている。
- ・市校長会（中学校）
教員が、生徒の表情や言葉使いなどを注意深く見て、いじめの早期発見に努めて行きたい。

- ・飯能警察署

現在、管内ではいじめが原因で事件に発展する事案は無い。4月からは、新小学1年生が登下校時に事件や事故に巻き込まれないようサポートしていきたい。

- ・市教育委員会教育長

市内では様々な団体の方が子どもたちを見守っているので、大きな事件などは発生していない。

- ・市長

来年度よりコミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育が市内全校で始まるので、地域・学校・家庭が一体となり、子どもたちを育てていきたい。

(3) その他

- ・なし